

越議第851号
令和2年12月17日

福井県社会保障推進協議会
代表委員 平野 治和 様

福井県越前市議会
議長 三田村 輝士



請願審議について

令和2年11月16日付けで提出された下記の請願は、令和2年11月26日招集の令和2年12月越前市議会定例会における12月17日の本会議において、別紙意見書の可決に伴い、みなし採択とすることに決しましたので、お知らせいたします。

なお、意見書は政府関係機関あてに送付いたします。

記

- 1 請願件名 請願第3号 75歳以上の医療費窓口負担2割化の検討中止を求める意見書を国に提出することを求める請願
- 2 審議結果 みなし採択

75歳以上の医療費窓口負担2割化の検討中止を求める意見書

令和元年12月19日に発表された政府の全世代型社会保障検討会議中間報告で、現在「原則1割」の75歳以上高齢者の医療費窓口負担について「負担能力に応じたものへと改革していく」と強調し、「一定所得以上」の人を対象とした「2割負担」を導入することを盛り込んだ。今後、「団塊の世代」が75歳以上になり始める令和4年度までに実施できるよう法制上の措置を講じるとしている。

同中間報告は、「社会保障のため」として消費税を10%にまで引き上げながら新たな負担を高齢者に押し付ける内容である。これでは高齢者の生活はますます苦しくなり、元来、弱い人のためにある社会保障制度が、高齢者を苦しめることになってしまう。コロナ禍によって困窮が全世代に広がっている。特に「公的年金だけでは生活できない」と非正規雇用で就労収入を得ながら、ぎりぎりの生活をしていた人たちがコロナ禍によって仕事を失い、瞬く間に困窮に陥っている。さらに、高齢者の貧困化の深まりで、生活保護を受給する高齢者世帯が増えている。これ以上の負担増は大幅な受診抑制を引き起こし、高齢者の生存権が脅かされることになる。

「負担能力に応じたものへと改革していく」というのなら、高額所得者からの保険料を能力に応じた負担とすべきである。また大企業や富裕層への課税強化で公費財源を確保すべきである。以上の内容により、全世代型社会保障検討会議中間報告にある、「75歳以上医療費窓口負担2割化」についての検討を中止し、撤回することを求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年12月17日

福井県越前市議会議員 三田村 輝士

永 議 第 4 5 5 号

令和2年12月18日

福井県社会保障推進協議会

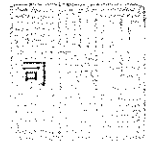
代表委員 平野 治和 様

代表委員 吉田 智明 様

代表委員 山野 寿一 様

永平寺町議会

議長 奥 野 正 司



75歳以上医療費窓口負担2割化の検討中止を求める
意見書の提出について（通知）

令和2年12月16日の本会議において「75歳以上の医療費窓口負担2割化の検討中止を求める意見書を国に提出することを求める請願書」について、慎重に審議した結果、採択されました。

よって関係官僚あて意見書を提出しましたのでお知らせします。



勝議発第172号
令和2年12月18日

福井県社会保障推進協議会
代表委員 平野 治和 様
代表委員 吉田 智明 様
代表委員 山野 寿一 様

勝山市議会議長 松山 信裕



請願陳情の審議結果について（通知）

令和2年11月26日付けで提出された陳情は、令和2年12月勝山市議会定例会において「不採択」となりましたので通知いたします。

記

1. 陳情件名

75歳以上の医療費窓口負担2割化の検討中止を求める意見書を国に提出することを求める陳情

福市議第598号
令和2年12月17日

福井市社会保障推進協議会
代表委員 天津 享 様
佐々木 紀明 様
西村 公子 様

福井市議会
議長 見谷 喜代三



請願の審議結果について

時下 貴台におかれましては益々御清祥のことと存じ上げます。
また、平素は、本市の行政推進にあたり格別の御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、先に提出されました請願は、令和2年12月定例会において審議した結果、下記のとおりとなりましたので、通知いたします。

記

75歳以上の医療費窓口負担2割化の検討中止を求める意見書を国に提出することを求める請願書

【審議結果】 不採択

請 願 結 果 通 知 書

受理番号	提出年月日	件 名
令和2年 請願第1号	令和2年 11月16日	75歳以上の医療費窓口負担2割化の検討中止を求める意見書を国に提出することを求める請願書

先般提出されました上記の請願は、令和2年12月18日の議会において、次のように決定しましたので通知します。

議決の結果

「医療費窓口負担2割化により、後期高齢者の方の負担が増えることが懸念されるため、趣旨には賛成する」との意見がありました。

一方で、「75歳以上の方が加入する後期高齢者医療制度は、医療費窓口負担分を除く医療費の約4割が、75歳未満の現役世代の保険料からなる後期高齢者支援金で賄われているが、これからの日本は、後期高齢者数が増加する傾向にある。

令和4年度以降になると、団塊の世代が順次後期高齢者に移行し、医療費の急増が見込まれ、これに伴い、現役世代の負担が増えることが懸念される。

現在の医療費窓口負担は、75歳以上の高齢者であっても、現役並みの所得があれば3割負担とし、1割負担と3割負担の2段階になっている。その間に、2割という中間的な負担割合を設けることは合理性があると思われ、75歳以上の高齢者に対し、基準を設けて負担割合を増やすことは、医療費の現状を鑑みるとやむを得ないことであり、現役世代の負担を減らす方策が、今は必要と考える。」との意見が出されました。

また、「検討中止を求める意見書」とあるが、今回の件は今後避けて通れない問題であるため、検討や話し合いを進め、負担割合を増やさなくて済むような方策や、負担増によって生活が圧迫される方を救済する措置を講ずるためにも、前向きに検討していくことが必要であり、この請願は、不採択とすべきである」との意見も出されました。

以上のような付託委員会の審査結果報告を踏まえ採決した結果、「不採択」と決しました。

令和2年12月21日

請 願 者

福井県社会保障推進協議会

代表委員 平野 治和 殿

代表委員 吉田 智明 殿

代表委員 山野 寿一 殿

鯖江市議会議長

帰山 明郎



坂議会第236号
令和2年12月21日

福井県社会保障推進協議会
代表委員 平野 治和 様
代表委員 吉田 智明 様
代表委員 山野 寿一 様

坂井市議会
議長 古屋 信 二

請願の審議結果について（通知）

令和2年11月25日付けで提出されました下記の請願は、令和2年12月第5回定例会にて、不採択と決定いたしましたので通知いたします。

記

○件名

75歳以上の医療費窓口負担2割化の検討中止を求める意見書を国に提出することを求める請願書

○審議経過

本案件について、委員から反対意見として、団塊の世代が75歳を超えると、医療費が本当に増えることが予想され、国民健康保険料にも跳ね返り、確実に若い人への負担が増えることになるとの意見や、後期高齢者支援金の負担を軽減し、若い世代の保険料負担の上昇を少しでも減らすことが重要であり、今後も全ての世代が公平に支え合う改革が必要であるとの意見がありました。

また、賛成意見として、75歳を過ぎた年金生活者が、病院にスムーズにかかれる支援体制が大事ではないか、2割負担は厳しいという意見がありました。

以上を踏まえ採決の結果、不採択とすることと決しました。

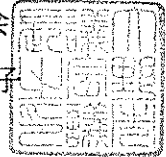
坂井市議会事務局
Tel 0776-50-3001（直通）



議 第 3 5 9 号
令和 2 年 1 2 月 2 3 日

福井県社会保障推進協議会
代表委員 平野 治和 様

大 野 市 議 会
議 長 梅 林 厚 子



陳情の審議結果について

令和 2 年 11 月 26 日付けで貴殿より受理いたしました、

75歳以上の医療費窓口負担2割化の検討中止を求める意見書を国に提出
することを求める陳情

については、令和 2 年 1 2 月第 421 回定例会において慎重審議の結果、

不採択

となりましたので、お知らせします。

《理由》

令和 3 年度には関係法改正案が提出される見通しであるため。

ご不明の点等は、大野市天神町 1 - 1
大野市議会事務局 (TEL64-4830)
まで問い合わせてください。

(連名での陳情の場合、貴殿以外には通知しませんのでご了承願います。)

あ 議 第 380 号
令和 2 年 12 月 25 日

福井県社会保障推進協議会

代表委員 平野 治和 様

代表委員 吉田 智明 様

代表委員 山野 寿一 様

あわら市議会議員 山田 重喜



請 願 審 査 結 果 に つ い て (通 知)

令和 2 年 11 月 16 日付けで提出された次の請願は、第 104 回あわら市議会議定例会において、不採択と決定しましたので通知します。

記

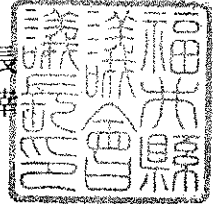
件 名 75 歳以上の医療費窓口負担 2 割化の検討中止を求める
意見書を国に提出することを求める請願書



福議第458-5号
令和2年12月23日

福井県社会保障推進協議会
代表委員 平野 治和 様
代表委員 吉田 智明 様
代表委員 山野 寿一 様

福井県議会議長
畑 孝 幸



請願の審査結果について

令和2年11月25日付けで提出された(請願第21号)「75歳以上の医療費窓口負担2割化の検討中止を求める意見書を国に提出することを求める請願」は、令和2年12月定例会において審査した結果、不採択と決定しましたので、お知らせいたします。